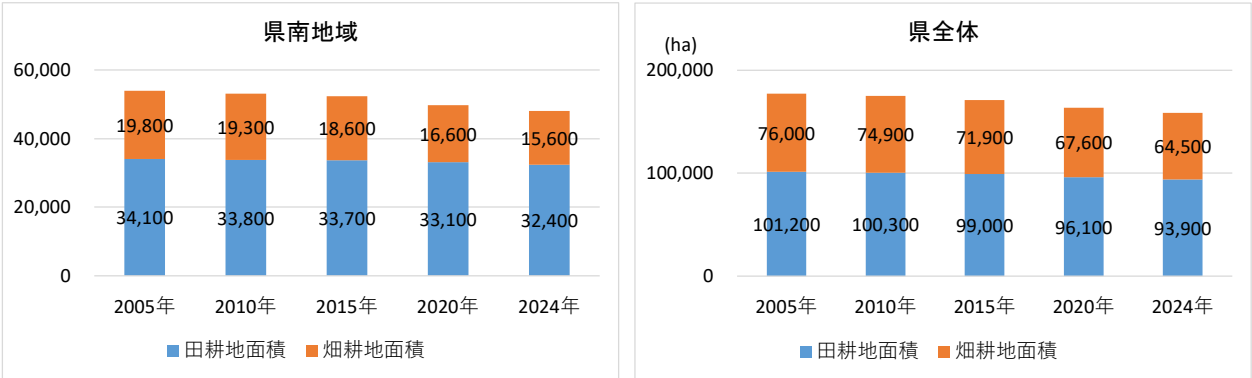


県南地域の農林業概況について

1 農地

(1) 耕地面積

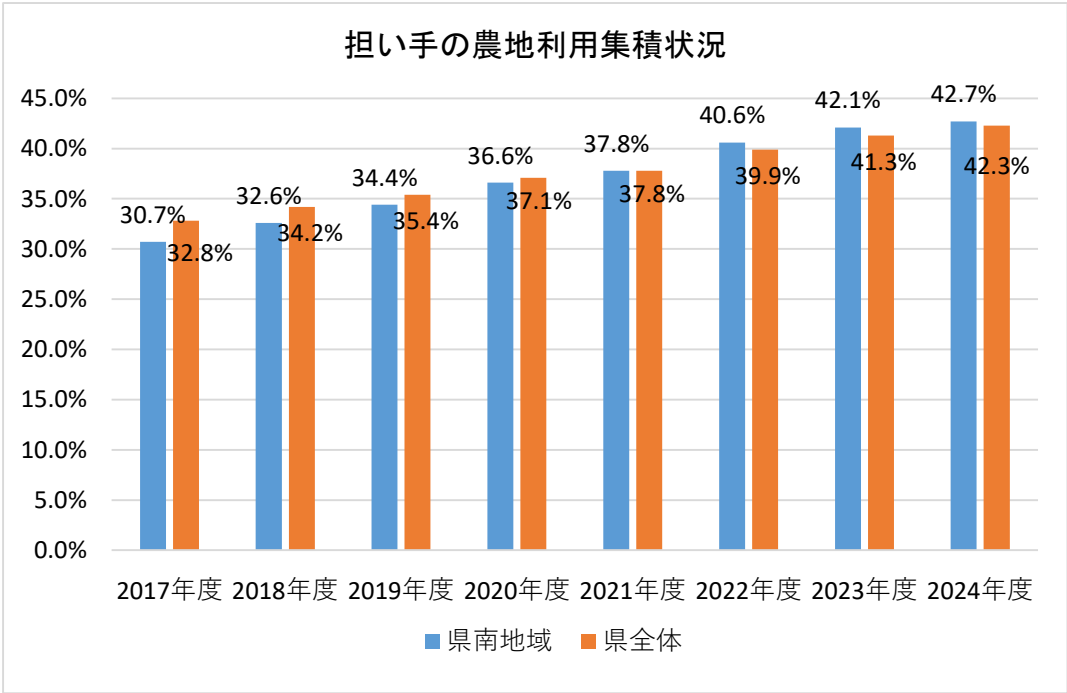
県南地域の耕地面積（田、畑）は、48,000ha（2024年）で、田が約67.5%を占めている。畑は、4年前に比べて1,000ha減少しており、田の減少率（△約2.2%）に比べて、減少率（△約6.1%）が大きくなっている。



出典：R6 耕地及び作付面積統計

(2) 農地集積率

県南地域の農地集積率は、県全体を上回る42.7%（2024年）である。
7年前の2017年度と比べて12ポイント増加しており、担い手への農地集積が進んでいる。



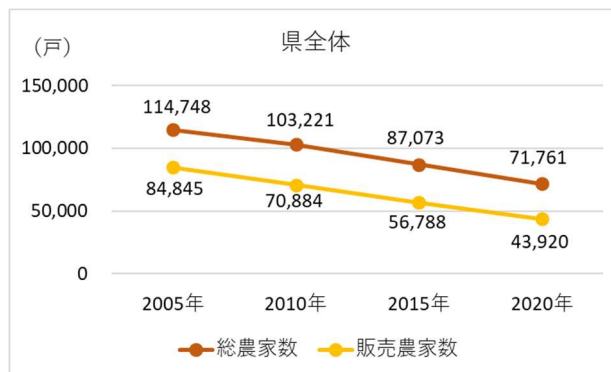
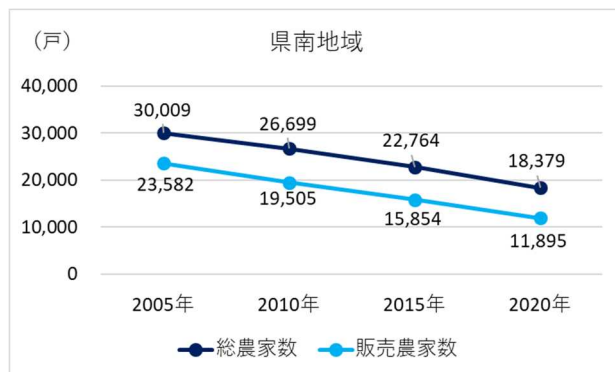
出典：R6 担い手の農地利用集積状況調査（農林水産省）

2 農業経営体

(1) 総農家数と販売農家数

県南地域の総農家数は、18,379 戸（2020 年）で、県全体の 26%を占めており、10 年前に比べて 8,320 戸減少（△31%）している。

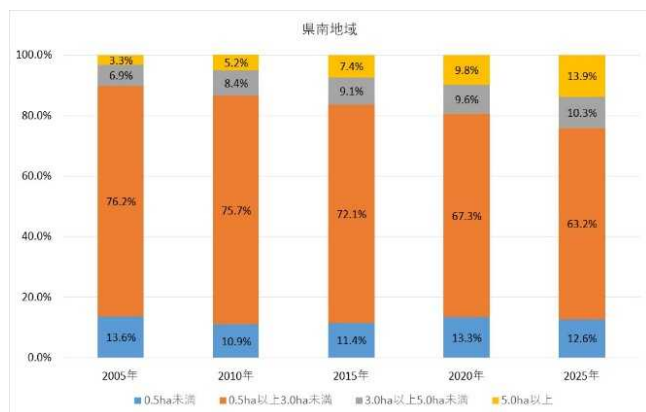
県南地域において、総農家数の 65%を占める販売農家数は 11,895 戸（2020 年）で、10 年前に比べて 7,610 戸減少（△39%）している。



出典：農林業センサス 2020

(2) 経営規模別経営体数の割合

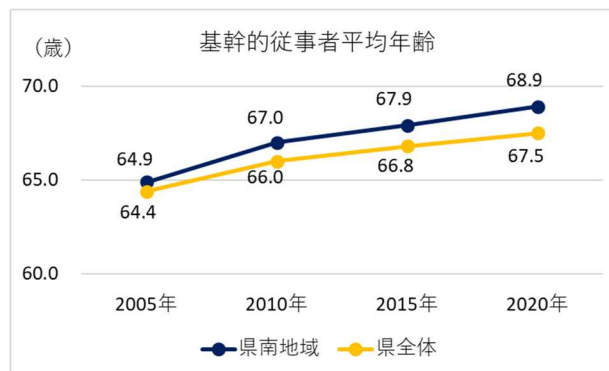
県南地域の経営規模別経営体数の割合は、0.5～3.0ha 層が 63%を占めているが、10 年前に比べて約 9 ポイント減少している。一方、3.0ha 以上の層は増加傾向にあり、特に 5.0ha 以上の層は、10 年前の割合の 2 倍程度に伸びている。



出典：農林業センサス 2025

(3) 平均年齢

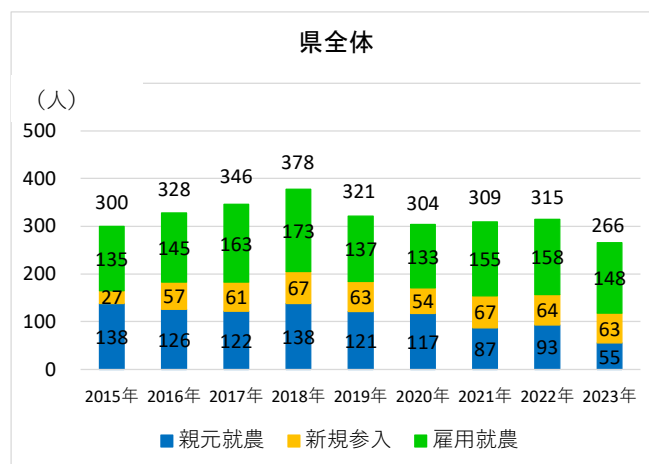
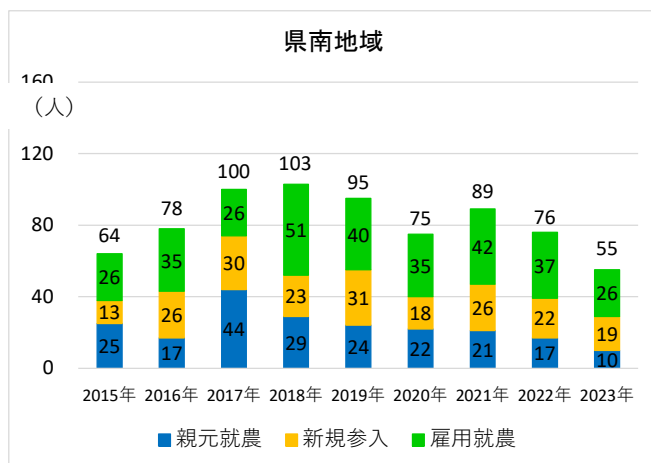
県南地域の基幹的農業従事者の平均年齢は、68.9 歳（2020 年）で、県全体よりも高く、10 年前と比べて高齢化が進んでいる。



出典：農林業センサス 2020

(4) 新規就農者数

県南地域の新規就農者数は、55 人（2023 年）で、近年で最多の 2018 年をピークに減少している。また、近年の新規就農者数の推移は概ね県全体と同様の傾向にある。



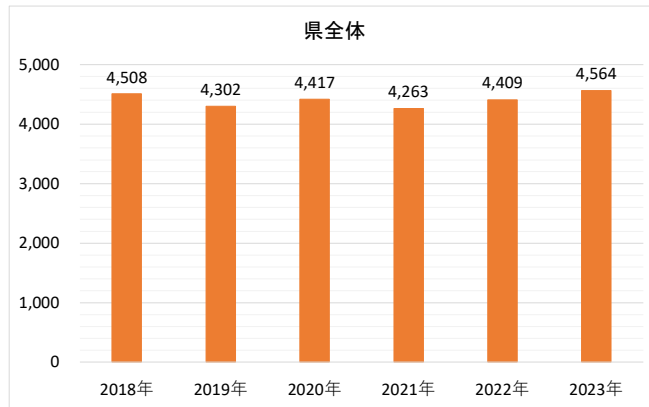
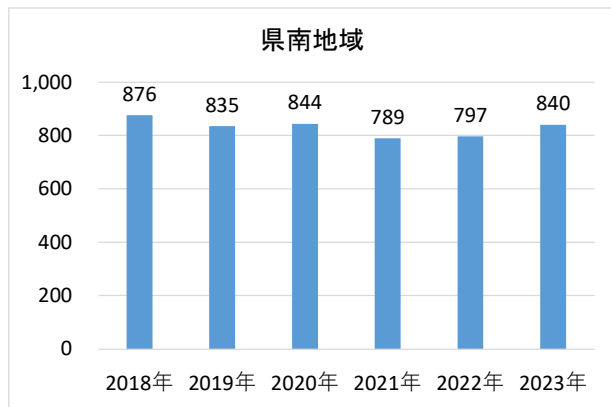
出典：R6 就農青少年調査（県農林水産部）

3 生産概況

(1) 農業産出額

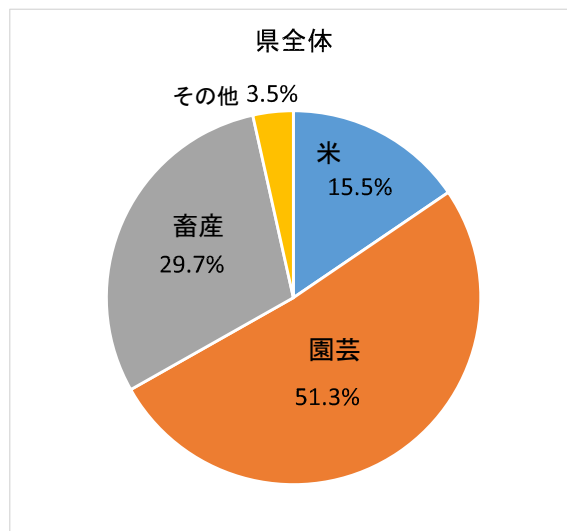
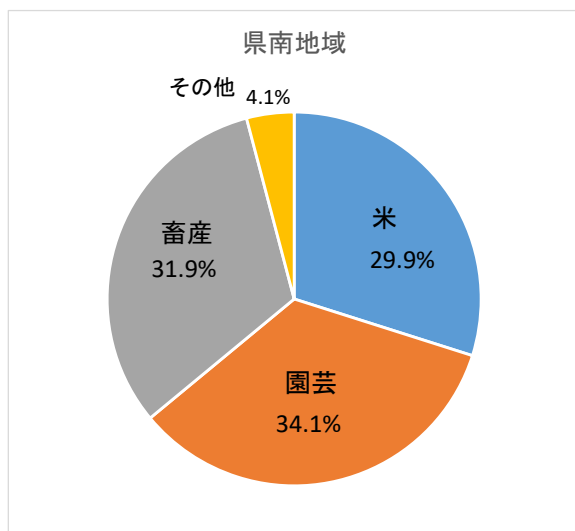
県南地域の農業産出額は、840 億円（2023 年）で、県全体の 18.4%を占めている。県全体と比較して、農業産出額全体に占める米の割合が大きくなっている。

◇農業産出額の推移



出典：R5 生産農業所得統計

◇農業産出額営農類型別割合（2023 年）



出典：R5 生産農業所得統計

(2) 農産物販売金額規模別経営体数の割合

県南地域の販売金額規模別経営体数は、100 万円未満の層が 40.0%を下回り、10 年前より 18.1 ポイント減少している。1000 万円以上の層は、県全体では 17.6%を占めるのに対し、県南地域では 12.3%に留まり、高額層の割合が県全体と比べて低い。



出典：農林業センサス 2025

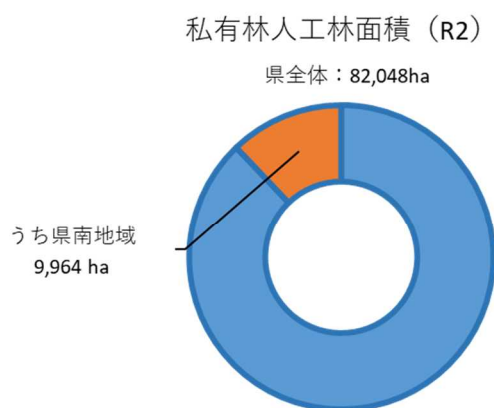
4 林業の概況

(1) 私有林人工林面積

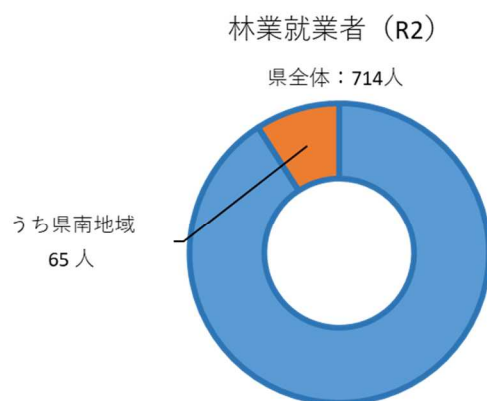
県南地域の私有林人工林面積は、9,964ha（2022 年）で、県全体の約 1 割（12%）を占めている。

(2) 林業就業者数

県南地域の林業就業者数は、65 人（2022 年）で、私有林人工林面積と同様に県全体の約 1 割（9%）を占めている。



出典：農林業センサス 2020



出典：R2 国勢調査